

事業期間	交付対象事業の名称	関連する総合戦略のKPI (重要業績評価指標)	交付額	主な事業概要	デジタル田園都市国家構想交付金におけるKPI				令和6年度実績値 (達成青・未達成赤)	令和7年度実績値	到達目標値 (達成青・未達成赤)	事業の効果寸評	事業効果の判断	当該年度の進捗状況	外部有識者事業の評価	今後の方針	今後の方針の理由
					指標①	指標②	指標③	指標④									
令和6年度 ～令和8年度	豊かな自然の中で実現する自分だけの「たまかわくらし」プロジェクト事業	【基本目標1 選ばれるむらづくりプロジェクト】 (1)移住定住の促進 (2)交流人口と関係人口の拡大 OKPI ・移住相談件数 100件 ・たまかわくらし応援サポーターの人数 15人 ・たまかわくらしプロジェクト参加者数 100人 ・お試し住宅の利用者数 80人 ○関連する各種事業 ・たまかわくらしサポートセンター関連事業(企画政策課) ・お試し住宅整備事業(企画政策課) ・関係機関と連携したUIJターン情報の発信(企画政策課、産業振興課)	事業総額 46,423千円 (内訳) 令和6年度 15,070千円 令和7年度 13,793千円 令和8年度 17,560千円	核家族化や共働きの増加、デジタル技術の急速な普及等による社会情勢の急激な変化に伴い、地域やコミュニティ、家族、仕事等への考え方や関わり方といった価値観の多様化が加速する現代社会において、本村では既存の地域やコミュニティのあり方や行政と住民・地域外の人の関わり方にとらわれず、それぞれが自身の価値観に合わせた暮らし方を選択できる受け皿を、意識の面でも制度の面でも整備することで、ウェルビーイングな暮らしができる「選ばれる村」を目指すため、たまかわくらしサポートセンターを設置し、「たまかわくらし」の魅力の情報発信や相談体制の充実を図るとともに、生活の基盤となる仕事についても新たなワークスタイル構築のための事業、住まい環境整備のための空き家活用事業等を進める。	指標① 地域へのUIJターン数 KPI増減値(単年度上昇値) 5 単年度実績値 10 実績累計値 10	指標② 移住サポーターセンターにおける移住相談者数 KPI増減値(単年度上昇値) 20 単年度実績値 32 実績累計値 32	指標③ 移住定住サポートセンター養成数 KPI増減値(単年度上昇値) 4 単年度実績値 0 実績累計値 0	指標④ 地域事業者との連携件数 KPI増減値(単年度上昇値) 10 単年度実績値 7 実績累計値 7			令和6年5月にセンターがオープン。トータルサポート窓口として「たまかわくらし(移住・定住)」に係る情報収集・発信、相談対応、イベント実施、受け皿整備等を行った。センターが関係した移住者数は16名。相談件数がイベント含め108件。現地案内件数が23件となった。	1 地方創生に非常に効果的だった 2 地方創生に相当程度効果があった 3 地方創生に効果があった 4 地方創生に効果がなかった	1 予定どおり実施できた 2 予定どおり実施できなかった	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	1 適切な評価である 2 概ね適切な評価である 3 やや見直しが必要である 4 見直しが必要である	1 予定通り事業を終了した 2 継続的な事業実施を予定していたが中止した 3 見直しをせず事業継続 4 事業内容の見直しを行う 5 事業の追加等に発展させる	
令和6年度 ～令和8年度	【福島県との連携事業】 魅力発見。ふくしまローカル鉄道利活用事業 だれもが住み続けられる持続可能なまちづくり事業	【基本目標1 選ばれる村づくりプロジェクト】 (2)交流人口と関係人口の拡大 OKPI ・サイクルヴェレッジたまかわ事業利用者数 5,000人 ・観光交流イベント来場者数 20,000人 ○関連する各種事業 ・泉郷駅賑わい創出事業(企画政策課) 【基本目標2 元気な産業応援プロジェクト】 (2)魅力ある産業の創出 (3)人材育成支援と稼ぐ力の創出支援 OKPI ・スタートアップ創業支援事業活用者数 5件 ・新規企業誘致件数 1件 ・民間事業者や地方創生を担う組織との協働事業数 20事業 ○関連する各種事業 ・新規企業誘致促進事業(産業振興課) ・民間事業者や地方創生を担う組織との協働事業(企画政策課)	事業総額(見込) 10,492千円 (内訳) 令和6年度 4,994千円 令和7年度 2,498千円 令和8年度 3,000千円	水郡線は令和6年度に全線開通から90周年を迎え、沿線地域の駅・鉄道への注目度を高める絶好の契機であり、路線の魅力を発信し、路線の認知度を高め、沿線地域住民を巻き込んだ事業を展開。令和6年度は、地域活性化村の玄関口である泉郷駅前あたりを核として、将来の地域づくりや移住者の受け皿、住み続けられる地域とするため、住民等が参加するワークショップを開催し、旧駒木根工業跡地を含むまちづくりプランを作成するとともに、全線開通90周年に合わせたイベントを開催することで、マイルス意識の醸成と水郡線の周知及び利用を図る。	指標① 地域(石川町、田村市、会津若松市)の人口・世帯数 KPI増減値(単年度上昇値) 単年度実績値 実績累計値	指標② 来街者による賑わいが維持できていると回答した商店街の割合 KPI増減値(単年度上昇値) 単年度実績値 実績累計値	指標③ 地元自治体等と共に課題解決に向けた学習活動を実施した学校の割合 KPI増減値(単年度上昇値) 単年度実績値 実績累計値	指標④ 地域の課題を解決するための提言や、社会に貢献する何らかの活動を行った生徒の割合(高校在学中) KPI増減値(単年度上昇値) 単年度実績値 実績累計値			まちづくりプランの策定に向けたワークショップを3回実施し、延べ57名が参加。全線開通90周年イベント(地域おこし協力隊フェスティバル)時にオープンハウスを実施し、広く意見をいただき、泉郷駅賑わい創出プランを策定。	2 地方創生に相当程度効果があった	1 予定どおり実施できた	①総合戦略のKPI達成に有効であった	計画どおり事業を実施することができた。さらなる事業効果を高め、水郡線の利活用促進を図ることが必要。	2 概ね適切な評価である 3 見直しをせず事業継続	
令和3年度 ～令和6年度	【福島県との連携事業】 地域資源活用による観光交流しごと創出プロジェクト 「たまかわ版スポーツツーリズムによる地域活性化プロジェクト」	【基本目標1 選ばれる村づくりプロジェクト】 (2)交流人口と関係人口の拡大 ○関連するKPI ・観光入込客数(年間宿泊者客数) 7,000人 ・体験型アクティビティ開発数 10件 ・体験型アクティビティ利用者数2,500人 ○関連する各種事業 ・観光PR事業(企画政策課・産業振興課) ・観光地域づくり推進事業(企画政策課・産業振興課) ・地域資源活用観光化事業(企画政策課・産業振興課)	事業総額(見込) 63,556千円 (内訳) 令和3年度 12,958千円 令和4年度 21,445千円 令和5年度 20,164千円 令和6年度 8,989千円	玉川村における新しい体験アクティビティとして、自転車を活用した「サイクルヴェレッジたまかわ事業」を構築。令和5年度からは、本事業の軸となる「アーバンスポーツ施設」の運営を民間事業者へ指定管理者制度を活用し、官民連携した事業を実施している。さらに、村が推進する着地型観光事業として、たまかわ観光交流施設「森の駅yodge」と連携した事業構築を図るなど、利用者には十分な滞在と思い出を持って帰路についてもらうことなど、普段の生活にはない濃厚な時間を過ごしてもらうため、各種事業を推進する。	指標① 事業において支援した店舗の来客数 KPI増減値(単年度上昇値) 単年度実績値 実績累計値	指標② 歩いて暮らせるまちづくりのモデル事業を実施した市町村における翌年のまちなかの通行量の割合 KPI増減値(単年度上昇値) 単年度実績値 実績累計値	指標③ リノベーション人材育成事業への参加者が実施したリノベーション物件の割合 KPI増減値(単年度上昇値) 単年度実績値 実績累計値	指標④ 住んでいる地域が住みやすいと思っている人の割合 KPI増減値(単年度上昇値) 単年度実績値 実績累計値			令和5年度からは、アーバンスポーツ施設が指定管理者制度を活用し、管理運営を民間事業者へ委任した。施設利用料(大人1回500円。事業利用者数としては、アーバンスポーツ施設がR5年度比111%(利用者数3,352名)となった。この結果から見ても、安定した利用者の確保が図られており、事業の認知も高まっており、成長に繋がっている。その他の事業でも、スキルパークの利用者数が対前年度比148%(約200名)、レンタサイクル事業も対前年度比122%(約300名)の利用があった。	2 地方創生に相当程度効果があった	1 予定どおり実施できた	①総合戦略のKPI達成に有効であった	本村の魅力を最大限に発揮できる事業となった。年間3,000人以上の利用者が増え、地方創生に大きく寄与できた。	2 概ね適切な評価である 1 予定通り事業を終了した	